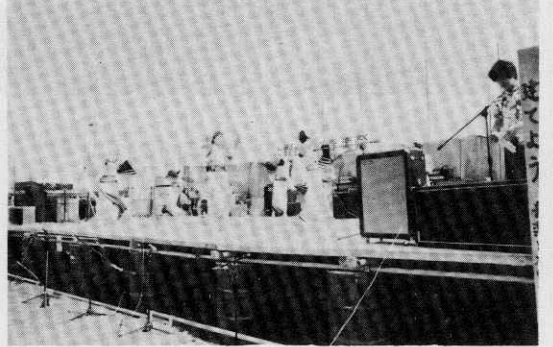


わたしたちの町

人口(男) 4,759人
(女) 5,060人
合計 9,819人
5月中の転入 25人
転出 25人
世帯数 2,267世帯
(5月末日住民登録人口調)



大野台ハイランドは、家族連れやチビっ子たちが、連日、にぎわっています。五月五日には、町内の青年たちが中心になって、大野台野外音楽祭を開催。二万人以上の入出になりました。芝生に寝ころぶ人、野外的料理を楽しむ人、思い思いのボール遊びの子供たち。深まる緑の中に、憩いを求める人々は、ますます増えていきます。写真上は民舞同好会の皆さんの演技。左は日が見える観覧席(大野台野外音楽祭から)



新収入役に和田三九郎氏

第一回臨時町議会

第一回臨時町議会は、五月十日に開かれ、収入役人事など、五議案を原案どおり可決しました。収入役の選任は、木村三郎前収入役が、五月十九日で任期満了になったことによるもので、新収入役には、和田三九郎氏(三十五歳)が選ばれました。

臨時議会で可決、承認された議案は次のとおりです。【議案第二十六号】合川町税条例の一部を改正する条例

【議案第二十八号】土地の取得について公営住宅建築用地六千二百二十五平方メートルを取得することを議決しました。【議案第二十九号】財産の無償貸付について

【議案第三十号】収入役の選任について 新収入役に、和田三九郎氏を選任することに、同意しました。



和田新収入役

粉骨砕身

就任にあたって

和田新収入役

去る五月十日の臨時議会におきまして、議会の同意をいただき、五月二十日付をもって合川町収入役に就任いたしました。議会人として三年一カ月の歳月でありましたが、その間、公私共に町民の皆様方の暖かいご支援ご厚情を賜わり、本当にありがとうございました。

今年の誕生の森は、六月二日、ハイランドの緑の広場に、特大のれんげつづじを三本植栽。昨年の四月二日から今年の四月一日までの該当者と両親らが集まって、その健全な成長を願いました。例年だと、一人一本づつ植えたのだが、今年は三人で一本と言うことで、最初はおばあさんの、その帰りは笑顔で迎えた様子が見えるようだ。(義)

町長日記から



町のこよみ

(行事予定)

- 六月
六日 議会運営協議会
十五日 献血車来町
十七日 父の日
十八日 誠親会総会
二十日 栄改りター大学級
二十二日 ことぶき大学運動会
二十三日 栄養指導車来町
二十九日 地域づくり研修会
三十日 フェンシング東北大会(会場合川高)

ご参加を!!

地域めぐり
日時 六月二十三日(土)
合川町公民館前

ご存知ですか

免除の手続き
経済的な理由で、国民年金の保険料を納められない人は、納付の免除を受けることができます。

6月~8月
子供の水の犠牲者
交通事故の1.4倍
◎子供の水遊びに
気を配りましょう



健康づくりをすすめる金・銀ワッペン

地道な活動が少しずつ実を結んでいるのが、はつきりと表れています。健康相談の参加者の多くはお年寄りですが、家族と

モデル二地区では、自分の健康は、自分で守りましょう。◎家族ぐるみで健康管理 ◎検診は、隣り近所と合せて。◎一日一回体操を。の四つを合言葉に、部落や婦人会が中心になって、活動を展開してきました。両地区で、健康相談に参加した人は、延べ千三百六十人余り。健康相談では、六十%の人が、保健婦や栄養士の指導助言を受けてお

町では、51年から、川井、三里両地区を成人病予防モデル地区に指定して、健康づくりをすすめてきました。このほど行なった、二地区のアンケート調査の結果では、部落ぐるみ、家族ぐるみの健康づくりが、すっかり定着。「成果を、全体的に広めたい」と、関係者ははり切っています。

みんなの広場 公民館だより



みんなの広場 公民館だより

健やかに育てと祈って

今年も誕生の森に植樹

今年の誕生の森植樹の対象者は、99名。そのうち69名が、両親やおばあちゃんといっしょに、元気に参加しました。

今年もレンゲツツジの大木30本を、ハイランドの広場に植樹。「自分の木というより、自分たちの木という意識で、仲間意識を育ててほしい」と町長のあいさつ。

子供の健やかな成長と植樹したつづのりばな開花を祈って思わず手を合わせる、お母さんの姿も見られました。



自分で年をとらないように

ことぶき大学1時間目

ことぶき大学1時間目は、県婦人指導員尾尾絢先生を招いて「家庭生活と孫の教育」について講義を受けました。

「生活に張りや失うと、年をとる」と長生きのコツ。しかし「お年寄りには、自分の疲れに気がつかないので、疲労が一度に表われやすい。遊びも仕事も節度をもって」と呼びかけました。

疋田東一郎さん(上杉)らが、孫の教育について体験発表。孫は「めんこくて、めんこくて」と一様に目を細めていました。

隣のとっちゃんに負けるな!!

部落さなぶり運動会

田植えも一段落。転作をはじめ厳しい農業情勢の中でも、早苗の緑に心やすらむ季節です。

各部落では、さなぶりの行事が行なわれています。増沢・杉山田両部落では、さなぶり運動会が開かれました。幼児からじっちゃん、ばっちゃんまで参加して、大ハッスル。田植えて曲がった背骨もまっすぐに伸びて少しばかり若返ったようです。

珍プレーの連続に笑顔もいっぱい。黄色い歓声も飛びかう、楽しい1日でした。

名古屋まで歩いていこう!!

100kmコンペ・部落に推進員

「走り歩きで体力づくり。を目標とした町民全員参加の100kmコンペ(競技会)がスタートしました。

3日、ハイランドで開かれたスタート会には、120人余が参加。それぞれのペースで自然を楽しみながら、健康づくりを行ないました。100kmコンペは、各部落に担当を決めて、これからは部落ごとに定例会を開催。100km(青森)、300km(山形)、700km(横浜)、1,000km(名古屋)を目標に、自主的にカード記録。11月11日にゴール会を行ないます。

地域活動だより 26 地域活動だより 26 地域活動だより 26

遊歩道では、乗馬を楽しむ姿も...。夏、冬利用できるコースを大野台につくろう。と研修団で話し合い。



森と湖の国

フィンランドを訪ねて 企画課 杉 潤 敬 輝

アカマツ、白樺の林の間からは、童話の世界でしか知らなかった美しい家(別荘)が見えかくれします。

家を建てるには、まわりに残す木を考えて設計する。ここにも、自然

厳しい自然、豊かな人々

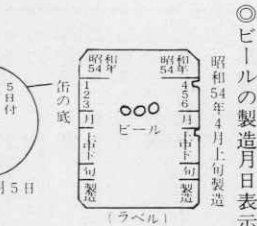
フィンランドは、「森と湖の国」と呼ぶにふさわしい国です。山は少なく、広大な地形は大野台にたいへんよく映えています。

を生活の中に取り入れるフィンランド人の暮らしが、よく表われています。湖の周りに、ハイウェイ。それに、サイクリング道路は、いたるところ

活の貧しさは、日本の比ではないように見受けられます。しかし、福祉政策が発達し、人々は皆、のびのびと生きています。国民の1割は、自然に親しむための別荘を持っていると言います。

あるいは、私たちが「豊かさ」と呼んでいるものは彼らには「浪費」となるかも知れません。そして、「豊かさ」のためにあぐさくと働く私たちに比べて、彼らは「自然の中の自分」を、質素に、堅実に、ゆつくりと楽しんでいるようでした。

(物価調査は休みます)



昭和54年4月上旬製造



笑顔あふれる田植え 風景一やがて築立つ日のすばらしい思い出に.....

一年生の豆まきは、固い土を砕きながら、悪戦苦闘。二人で「うねのワッパカ」(割り当て)を消化しました。

植えつけた「モチ米」は、十月に収穫を予定。来年度の正月には、全校でモチつき大会を行い、文字どおり「手づくりの味」を味わうことにしています。

好記録に大歓声

小学校陸上競技記録会

第十一回を数える町内四小学校の陸上競技記録会は、二十二日、合川中グラウン

ドで開かれました。各選手は、きびきびとした走りぶりに、応援にかけつ

けた父兄やお年寄りも大援。大会新記録一つをはじめ、好記録が続出しました。

成績は、次のとおりです。男子四年百メートル ①藤島潤子(北)十六秒三 ②三浦浩幸(同)十六秒五 ③金田ひ

昭(南)三浦浩幸(同)十六秒三 ④加藤正博(南)十五秒三 ⑤同六年二分十秒五 ⑥同五年八百

①加藤和彦(南)十四秒五 ②三浦浩幸(南)二分五十二秒八 ③五年千メートル ④岩川充(西)三分三十三秒 ⑤相馬等(北)三分十八秒八

⑥女子四年百メートル ①佐藤佳子(西)十七秒〇 ②五年同 ③藤島潤子(北)十六秒三 ④六年同 ⑤金田ひ昭(南)三浦浩幸(同)十六秒三 ⑥加藤正博(南)十五秒三 ⑦同六年二分十秒五 ⑧同五年八百

ウヒヤ、気持ちいい!!

トレパン姿で全校田植えー合川中学校校田

今年の面積は三ノアル。田植えは、恒例行事となつてに比べて、半分には減り

ました。このため、田植え作業は、二、三年生が担当。すそをまくし上げて、はだ

一年生は、大豆作りに挑戦。して田んぼの中へ.....。晴れわたつた五月の空に、

歓声が響きます。町内では、ほとんど姿を消した「手植え作業」。

勢ぞろいした二百人余の乙女?に、近所の農家の人たちが、大声援をおくっていました。

大人・子供・しかる・ほめる シリーズ ②

女子四年 ①東小一分六秒 秒七 ②六年 ③西小一分三 ④五年 ⑤西小一分五 ⑥秒六 ⑦大会新記録

泥んこの顔をぬぐいながら、ニッコリ。五年目を迎えた合中学校校田で、今年も二十三日、全校田植えが行なわれ

今年の面積は三ノアル。田植えは、恒例行事となつてに比べて、半分には減りました。このため、田植え作業は、二、三年生が担当。すそをまくし上げて、はだ一年生は、大豆作りに挑戦。して田んぼの中へ.....。晴れわたつた五月の空に、

歓声が響きます。町内では、ほとんど姿を消した「手植え作業」。

勢ぞろいした二百人余の乙女?に、近所の農家の人たちが、大声援をおくっていました。

桜田善太郎さん 善意のご寄付 (敬称略)

桜田善太郎さん(東根田)は、善意に感謝し、故人のご町民みなで利用してくださる、二百冊余の本を寄贈しました。

桜田善太郎さん、読書家として知られ、このたびの贈書も、すべて自分で読み上げたものばかり。少しでも多くの人に、目を通していただければ.....、と話していただきました。

桜田善太郎さんから贈られたたくさん本の一部

慶弔だより 5月

伊藤温子 和也三女 庄司泰憲 久雄二男 下杉 高橋勇幸 勇夫長男 下杉 松井千春 米一三女 福田 山田淳史 勝郎長男 金沢 杉淵美帆子 敬輝長女 浅野純子 弦雄二女 李岱 福岡大樹 進 長男 三井 永山寿子 信雄長女 川井 永山貴子 信雄二女 川井 高橋久美子 一栄二女 安部真里子 順悦長女 小林純子 功 二女 道城 松岡さつき 晴樹長女 川井 蛇川かおり 喜代己長女 川井

●おくやみ申し上げます 金田キエ 哲治母 羽根山 土濃塚運吉 本人 芹沢 金田スエノ 本人 西根田 杉淵キク 繁母 増沢 小田ミン 定七妻の母 三浦チナ 定之助母 三木田 松岡千代治 本人 羽根山